講演会型＋子育てサロン型（幼稚園＋保育園）

学　校　名	大垣市立中川幼稚園
実　施　日	平成２６年６月２４日（火）
会　　場	中川幼稚園
参 加 人 数	園児２６名　保護者２２名
学習課題（分野）	整理収納お片付け講座
運営者の願い	「片付けのできる子になってほしい。」と親は願っているが，なかなか身に付かず，悩みのひとつとなっている。講演対象を保護者だけでなく，子どもにも広げ，親子で片付けの大切さを考える機会とした。また，片付けについて自分の家庭の様子を振り返り，悩みを相談できるよう「子育てサロン型」の取組を取り入れた。

学　習　の　内　容

１．整理収納お片付け講座

講師　　竹内　靖子氏（ライフオーガナイザー）

事前の打ち合わせでは、より有意義な会とするため，①園児向けお片付け講座②保護者向け講座③小グループでのグループワーク（質問タイム）の3部構成とするよう講師から助言を受けた。

＜園児向けお片付け講座＞

・読み聞かせ 「ななちゃんのおかたづけ」

・ゲーム　　①4色のボールを色別に分ける。

②形のちがう色板を，色別や形別に分ける。

※色別や形別に分けるとわかりやすい。分け方は，人によって違うことを体感する。

・おはなし　「お片付けは，使ったものを元の所へ戻すこと」そのために，「①おもちゃをわける。②おもちゃのおうちをきめる。③あそんだら，おうちにもどす。」

※動機づけ「ママと一緒に，ルールを決めよう。」

＜保護者向けお片付け講座＞

・ライフオーガナイズとは，思考を整理し，物や空間を整えるだけでなく，時間や情報を整理したり，暮らしや人生を見直したりして，生き方を整理する『自分らしくここちよく暮らすための仕組みづくり』のこと。

・まず，理想の暮らしをイメージする。次に「使っている，気に入っている」などの観点で整理する。その後，定位置を決めて収納。最後に元に戻すことを習慣化していく。

・自分に合ったやり方でよい。できない自分は，やり方が合っていなかったり，維持する方法が分からなかったりしているだけ。

・片付けは，目の前の物を片付けることが目的でない。目的は心地よく暮らすためで，片付けはそのための手段。「片付いていると気持ちいいね。」という意識が大切。

・片付けを通して，子どもは，いるものいらないものを自分で選択したり，物事の優先順位を決めたり，責任感や集中力を身に付けたりすることができる。

２．グループワーク（質問タイム）

・もっと聞きたいことや悩みを交流する。

・食卓で勉強した後，学習用具を片付けないので，困っている。

・片付けタイムを設けているが，やらないときにどのように声をかけたらいいのかなど。

３．保護者の感想

・片付けが苦手なので，いつも散らかっては片付け，散らかっては片付けの日々です。今日の話を聞いて，「なるほど！！」と思うことが多々ありました。子どもの意見も聞いて，子どもと一緒に片付けをしようと思いました。

・片付けさえすればいいと思っていたのですが，片付けることにも深い意味があり，暮らしや生活に深くかかわっているのだと分かりました。また，片付ける順番が大切なんだと初めて知りました。

・片付けができないことを責められないので，気持ちも楽にお話を聞くことができたと思います。脳のせい，自分に合ったやり方じゃなかったんだと･･･子どもにも自分の持ち物に責任をもってもらえるようにしていきたいと思いました。

整理収納のテーマを保護者だけでなく，子どもにも聞かせる場をもち，「お片付けは楽しいよ。」という気持ちを高めることができた。また，「おもちゃのおうちを決めよう。」という投げかけが，「どこにどのように収納するのか」という家庭でのルールづくりの動機づけとなった。

講演の後に，５～６人のグループで，もっと講師に聞いてみたいこと，悩んでいることなどを自由に交流する場をもった。他の家庭の様子を知る中で，ヒントを得たり共感したりと，和やかに話は進んだ。さらに，最後に講師から助言を得ることができ，さっそく取り組んでみようという気持ちを強めることができた。

家庭教育学級長の「知りたいな。」が講座テーマに直結。講師さん探しには，インターネット検索が，強い味方だ。